

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

都道府県名		熊本県		人吉市				担当部局課名	総務部企画課成長戦略室					
No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
				指標①	指標②	指標③	指標④	指標⑤						
1	人吉市商店街活性化(空き店舗支援)事業	基礎交付	6,470,000	指標①	開業者(新規)数	2	件	平成28年3月	4	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	(申請方法や開業者の職種、効果等についての質問後)中心市街地の活性化に効果があり、地方創生に資する事業である。	事業の継続	本市が設立を目指している「起業創業・中小企業支援センター(仮称)」により、既存の店舗、および創業希望者への個店サポート力を強化し、魅力的な店舗の創出に努める。
2	GIPSタウン構想に基づくICT活用「まち・ひと・しごと」創りコンテスト等事業	基礎交付	14,454,000	指標①	事業コンテスト応募数	10	件	平成28年3月	24	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	市内外から応募があり、内容もレベルが高く、興味を引く事業であった。ICT活用の普及啓発に繋がっている。	事業の継続	地方創生では、住民・民間と行政が一体となった意識の共有が必要であり、意識付けには地道な取り組みが必要である。今回の事業で応募アプリを観光協会が採用するなどの活用もあり、新たな事業展開につながっている。
3	観光拠点施設を中心としたニューツーリズム確立のための魅力向上事業	基礎交付	20,069,000	指標①	ミュージアム年間来場者数	50,000	人	平成28年3月	84,029	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	目標を大幅に上回る成果が出ている。今後も観光拠点施設を中心とした、新たな事業や、ハラル等のニューツーリズムに取組んでほしい。	追加等更に発展させる	施設の集客力を活かし、さらに地域資源と融合させて新たな付加価値を見出し、開館効果を高め、継続させる必要がある。ニューツーリズムにおいても、市内外を問わず関心が高く、先駆的な取り組みを行うことで、事業の周知を図る。
4	「G空間×近未来技術」を活用したスマート林業構築事業～川上から川下を繋ぐIoT等を活用した森林SCM(サプライチェーンマネジメント)が支える新たな林業～	タイプⅠ	39,949,000	指標①	ビジネスモデル構築	有無		平成28年3月	有	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	G空間情報を活用したスマート林業を、どう展開していくか興味がある。今後に期待している。	追加等更に発展させる	G空間情報を活用した先進的な取り組みであり、今回実施した事業内容の成果を活用し、更に実践的なスマート林業実現に向けた事業に取り組む。
5	日本遺産情報発信事業	タイプⅡ	9,685,000	指標①	入込観光客の増	前年度比 120	%	平成28年3月	112.4	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	今後の情報発信の方法等、日本遺産に関心を持つ方への働きかけが重要。周辺自治体とも連携し、情報発信に努めてほしい。	事業の継続	日本遺産の情報発信については、人吉球磨日本遺産活用協議会のH28年度事業において、映像制作放映、プロモーション、情報誌広告により人吉球磨地域で実施、推進していく。
6	ムスリムインバウンドおもてなし構築事業	タイプⅡ	315,000	指標①	ムスリム来訪数	50	人	平成28年3月	36	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	おもてなし事業参加者による情報発信に期待している。関係団体との連携をさらに強化して取組んでほしい。	事業の継続	人吉市流ムスリムフレンドリーおもてなし取組により取組企業、来訪者の増加を目指す。地域活性化を継続する。

事業名				人吉市商店街活性化(空き店舗支援)事業				
1	総合戦略における位置付け	基本目標	目標	名称	施策	名称	主要取組	名称
		1・2・4		1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する		イ)中核企業支援、起業・創業支援等による地域産業の強化		④起業・創業支援等の取組の促進
				2 本市への新しいひとの流れをつくる		イ)多様な交流による移住・定住の促進		②積極的情報発信による移住の支援・推進
				4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する		ア)時代に合った地域づくりの推進		②空き家・空き店舗の利活用の推進

事業の内容

事業の内容	2	目的(何のために)	事業の概要	4	実績額	6,470,000円	
				事業の概要	指標		目標
					開業者(新規)数		実績
							2件
事業の内容	3	事業内容(手段、手法など)	事業の概要	事業の概要			4件
事業の内容	3	事業内容(手段、手法など)	事業の概要	事業の概要	事業の概要	項目	
						判定	
						今後の取組方針	
						事業の継続	
事業の内容	3	事業内容(手段、手法など)	事業の概要	事業の概要	事業の概要	地方創生に非常に効果があった	
						地方創生に相当程度効果があった	
						地方創生に効果があった	
						地方創生に効果がなかった	
事業の内容	3	事業内容(手段、手法など)	事業の概要	事業の概要	事業の概要	委員からの意見・要望	
						本市が設立を目指している「起業創業・中小企業支援センター(仮称)」により、既存の店舗、および創業希望者への個店サポート力を強化し、魅力的な店舗の創出に努める。	
						＜達成度＞ ☐ 大きな成果が得られた ☒ 概ね成果が得られた ☐ 成果が得られなかった	
						＜方向性＞ ☐ 増加する方向にある ☒ 現状と変わらない ☐ 減少する方向にある	
事業の内容	3	事業内容(手段、手法など)	事業の概要	事業の概要	事業の概要	＜必要性＞ ☒ 必要性が高い ☐ 必要性が認められる ☐ 必要性が低い、ない	
						＜有効性＞ ☐ 総合戦略に有効であった ☒ 概ね有効であった ☐ 有効性が低い、ない	
						＜意見・要望＞(申請方法や開業者の職種、効果等についての質問後)中心市街地の活性化に効果があり、地方創生に資する事業である。	

事業の内容

事業の内容

2

目的(何のために)

本市においては、近年大雨において連続で避難勧告を発令している。特に山間地における情報伝達には非常に苦慮している状況にあり、リアルタイムでの情報伝達にはGISを活用することが有効な手段である。そこで、市が政策提言している「GIPSタウン構想」に基づく事業コンテストを実施し、選定者を総合的に支援するもの。

なお、事業等の拠点となるサテライトオフィスを準備する。

本事業は地方版総合戦略に位置付ける見込みであり、地方版総合戦略の策定に先行して行うものである。

また、防災の拠点における住民の情報収集・発信を強化することで、情報発信に磨きをかけ、地域を活性化させるため、地域の拠点に公衆無線LAN環境を整備する。

事業の概要

3

事業内容(手段、手法など)

①「GIPSタウン構想」に基づく事業コンテストの企画・実施・検証
「アイデア・アプリコンテスト the1st」を開催、チラシ・ポスターでの周知の他、地元教育機関等に応募依頼を行った。またSNSでの情報発信により、情報の拡散を推進。応募方法として、専用ホームページの立ち上げ、募集を行う。一次審査後の二次審査は、プレゼンテーションを行い、各賞を決定。コンテストを開催することで、人吉市でのG空間情報及び、ICT活用の取り組みの情報を発信し、「ICT人材の発掘・育成・定着にむけたコミュニティづくり」を目指す。

②コンテストに基づく選定者の本市への移住に伴う総合的支援に要する経費(①及び②を外部委託)

③選定者に対して一定額の初期経費を支援金として給付

④事業等の拠点となるサテライトオフィス家賃等

*公衆無線LAN環境整備(2か所)

①カルチャーパレス(文化施設)
本市が進めているG空間(地理空間情報)のシンポジウム等を開催している施設。

②スポーツパレス(体育施設)
本市が避難勧告を発令した際の最大避難施設。

4

実績額

14,454,000円

事業の評価指数(KPI)

指標	目標	10件
事業コンテスト応募数	実績	24件
指標	目標	2件
事業コンテスト選定者が人吉市に移住	実績	0件
指標	目標	1,000件
市HP表示数の増加	実績	1,557件

事業の評価

項目	判定	今後の取組方針
地方創生に非常に効果があった		事業の継続 地方創生では、住民・民間と行政が一体となった意識の共有が必要であり、意識付けには地道な取組が必要である。今回の事業で応募アプリを観光協会が採用するなどの活用もあり、新たな事業展開につながっている。
地方創生に相当程度効果があった	○	
地方創生に効果があった		
地方創生に効果がなかった		
委員からの意見・要望		
<達成度> ■大きな成果が得られた <方向性> ■増加する方向にある <必要性> □必要性が高い <有効性> □総合戦略に有効であった	□概ね成果が得られた □現状と変わらない ■必要性が認められる ■概ね有効であった	□成果が得られなかった □減少する方向にある □必要性が低い、ない □有効性が低い、ない
<意見・要望>市内外から応募があり、内容もレベルが高く、興味を引く事業であった。ICT活用の普及啓発に繋がっている。		

事業名			観光拠点施設を中心としたニューツーリズム確立のための魅力向上事業					
1	総合戦略における位置付け	基本目標	目標	名称	施策	名称	主要な 事業	名称
		1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する		ウ)地域の農林水資源、観光資源を活用した新たな地域産業の充実強化		①広域観光連携プロモーション活動の実施		
		2 本市への新しいひとの流れをつくる		ア)人吉球磨の日本遺産を中心とした観光振興と交流促進		①人吉球磨の日本遺産を中心とした景観・文化振興戦略及びニューツーリズムの戦略の構築・展開		
						③外国人観光客の誘致		

事業の内容

事業の概要	2	目的(何のために)	本市は、SL人吉をはじめ、観光列車“いさぶろうしんぺい”号、さらには九州新幹線のデザインをされた工業デザイナー水戸岡鋭治氏が手掛けられた列車『田園シンフォニー』が集う駅(人吉駅)がある。そこに観光拠点施設としての鉄道ミュージアムが平成27年5月にオープンすることになっており、観光拠点の目玉として、家族連れをはじめとする旅行者や子どもたちを取り込むため設備等の充実を行い、ニューツーリズムの拠点としての機能向上を図るもの。また、新たな施設の開館により、施設の管理委託やミニトレインの運行委託を行うなど、新たな雇用を生むことも見込まれるなど地域の活性化につながる事が期待できる。 また、本市は現在日本を訪れるムスリム旅行者の取り込みにも力を入れており、モニターツアーなども実施をしているところではあるが、まだムスリムに対する知識や理解は十分とは言えず、受入れるために人吉市が研究、取り組んできた実績をガイドブックにすることにより、市民とムスリムを繋ぐおもてなしを推進する。	事業の概要 (KPI)	4	実績額	20,069,000円																
			重要業績評価指数		指標		目標	50,000人															
					ミュージアム年間来場者数		実績	84,029人															
					指標		目標	5,000人															
					リピーター来場者数		実績	34,000人															
					指標		目標	50%															
					来場者アンケートの満足度		実績	78%															
					指標		目標	5件															
	ムスリム取組相談件数		実績	23件																			
	事業の概要	3	事業内容 (手段、手法など)	平成27年5月開館予定の人吉鉄道ミュージアムにおいて、地域資源を最大限活用するとともに工業デザイナー水戸岡鋭治氏のオリジナルデザインによる子ども向け設備など館内備品の充実を図ることで、魅力ある観光施設として、ニューツーリズム事業に位置付けていく。 ○鉄道ミュージアム施設運営管理 鉄道ミュージアム開館に伴う業務委託に伴う新たな雇用や事業の増加分 (内容) ・鉄道ミュージアム管理(ミニトレイン管理含む。) ・施設設備等保守点検委託 ・人吉鉄道ミュージアム緑地維持管理委託 ・人吉鉄道ミュージアム警備委託 ・人吉鉄道ミュージアム管理清掃委託 ○観光拠点強化事業 ・人吉市流ムスリムフレンドリーおもてなしガイドブック作成(ソフト事業) ・鉄道ミュージアム備品購入 ・公衆無線LAN環境整備2か所(鉄道ミュージアム、人吉城歴史館) なお、鉄道ミュージアム備品の内容は、九州新幹線等を手掛けられた工業デザイナー水戸岡鋭治氏監修により、九州の観光列車などでも人気のある木のボールを入れた木のプールやミニ駅舎等。	事務事業評価	項 目		判定	今後の取組方針														
地方創生に非常に効果があった				○		追加等更に発展させる																	
地方創生に相当程度効果があった						施設の集客力を活かし、さらに地域資源と融合させて新たな付加価値を見出し、開館効果を高め、継続させる必要がある。ニューツーリズムにおいても、市内外を問わず関心が高く、先駆的な取り組みを行うことで、事業の周知を図る。																	
地方創生に効果があった																							
地方創生に効果がなかった																							
委員からの意見・要望																							
<table><tr><td><達成度></td><td>■大きな成果が得られた</td><td>□概ね成果が得られた</td><td>□成果が得られなかった</td></tr><tr><td><方向性></td><td>■増加する方向にある</td><td>□現状と変わらない</td><td>□減少する方向にある</td></tr><tr><td><必要性></td><td>■必要性が高い</td><td>□必要性が認められる</td><td>□必要性が低い、ない</td></tr><tr><td><有効性></td><td>■総合戦略に有効であった</td><td>□概ね有効であった</td><td>□有効性が低い、ない</td></tr></table>							<達成度>	■大きな成果が得られた	□概ね成果が得られた	□成果が得られなかった	<方向性>	■増加する方向にある	□現状と変わらない	□減少する方向にある	<必要性>	■必要性が高い	□必要性が認められる	□必要性が低い、ない	<有効性>	■総合戦略に有効であった	□概ね有効であった	□有効性が低い、ない	
<達成度>		■大きな成果が得られた	□概ね成果が得られた	□成果が得られなかった																			
<方向性>		■増加する方向にある	□現状と変わらない	□減少する方向にある																			
<必要性>		■必要性が高い	□必要性が認められる	□必要性が低い、ない																			
<有効性>	■総合戦略に有効であった	□概ね有効であった	□有効性が低い、ない																				
<意見・要望> 目標を大幅に上回る成果が出ている。今後も観光拠点施設を中心にした、新たな事業や、ハラル等のニューツーリズムに取り組んでほしい。																							

地方創生先行型実施事業検証シート

担当部課名 経済部農林整備課・総務部企画課

事業名		「G空間×近未来技術」を活用したスマート林業構築事業～川上から川下を繋ぐIoT等を活用した森林SCM(サプライチェーンマネジメント)が支える新たな林業～					
総合戦略における位置付け	基本目標	名称		名称		名称	
	1	目標	1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する	施策	ア)地域の産業振興を担う人材育成の強化	主要取組	①地場産業を担う即戦力となる人材の育成に向けた取組の推進
					ウ)地域の農林水資源、観光資源を活用した新たな地域産業の充実強化		②地域資源を活用した商品開発・農林水産業の6次産業化に向けた取組の推進
					エ)ICTや地理空間等、次世代技術を活用した新たな産業基盤の確立		③地域資源とICTや地理空間といった先進技術を活かした「しごと創り」プロジェクトの実施

事業の内容

事業の概要	2	目的(何のために)	林業の集積が進む本市において先駆的かつ戦略的に実施することで、日本各地に存在し国土の約6割を占める森林資源を中心とした地域経済の好循環と、若い世代や世界に対し発信できる「スマート林業(林業により地域で生活し、家族を養える)」の確立を行い、地方創生に掲げる「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ、持続可能な「まち」の形成を目指すことを目的とする。 <プロジェクトの方向性> (1)林業の収益・従事者数向上にむけた対策 森林資源の蓄積が進む中、従事者の高齢化による担い手不足を補ったり新たな担い手の参画を得やすくするために、更なる林業収益性向上に向けたモバイル機器やセンサーといったICTを活用した効率化や施業の自動化に向けたロボット技術開発、路網計画等生産性向上に寄与するソフトウェアといったツール開発、新たな技術を活用した林業人材の育成プログラム及び林業従事者移住対策を行う。 (2)川上、川中、川下を繋ぐ仕組み作り クラウドサービスとして森林・木材情報を共有したり、山林所有者や素材生産者といった川上、木材加工業者や二次加工業者といった川中、工務店やハウスビルダー、木質バイオマス事業者や製紙工場といった川下を繋ぎ、欲しい時に必要な森林資源を効率的に活用することができる、IoT等を活用した森林サプライチェーンマネジメント(森林SCM)といった仕組み作りを行う。	4	実績額	39,949,000円	
			事業の概要	重要業績評価指数(KPI)	指標	目標	有無
					ビジネスモデル構築	実績	有
					指標	目標	有無
					SCM協力協定内容確立	実績	無
					指標	目標	200人
					交流人口の増	実績	220人
					指標	目標	有無
					育成・就業プログラム開発	実績	有
事業の内容(手段、手法など)	3	事業内容	事業の概要	事務事業評価	項目	判定	今後の取組方針
					地方創生に非常に効果があった		追加等更に発展させる
					地方創生に相当程度効果があった	○	G空間情報を活用した先進的な取り組みであり、今回実施した事業内容の成果を活用し、更に実践的なスマート林業実現に向けた事業に取り組む。
					地方創生に効果があった		
					地方創生に効果がなかった		
					委員からの意見・要望		
					<達成度> ■大きな成果が得られた □概ね成果が得られた □成果が得られなかった <方向性> ■増加する方向にある □現状と変わらない □減少する方向にある <必要性> ■必要性が高い □必要性が認められる □必要性が低い、ない <有効性> □総合戦略に有効であった ■概ね有効であった □有効性が低い、ない	<意見・要望>G空間情報を活用したスマート林業を、どう展開していくか興味がある。今後に期待している。	

事業名		日本遺産情報発信事業			
総合戦略における位置付け	基本目標	名称		名称	
	1・2	目標	施策	主要な事業	名称
1	1・2	目標	施策	主要な事業	①広域観光連携プロモーション活動の実施 ①人吉球磨の日本遺産を中心とした景観・文化振興戦略及びニューツーリズムの戦略の構築・展開 ②人吉球磨の日本遺産をはじめとした観光資源の磨き上げと観光地等の情報収集・発信機能の強化
1	1・2	目標	施策	主要な事業	①広域観光連携プロモーション活動の実施 ①人吉球磨の日本遺産を中心とした景観・文化振興戦略及びニューツーリズムの戦略の構築・展開 ②人吉球磨の日本遺産をはじめとした観光資源の磨き上げと観光地等の情報収集・発信機能の強化

事業の内容

事業の内容

2

目的(何のために)

事業の概要

3

事業内容(手段、手法など)

人吉球磨で認定された、日本遺産(相良700年が生んだ保守と進取の文化)は、人吉市を含む1市9町村にわたるものであり、当該エリアにおいて設立された官民協働の協議会の活動と連携を図りながら、取り組みを進めるものである。
日本遺産の第1号案件として今年度認定を受けたばかりのもので、この機会を捉えて集中的に情報発信を行うことで、本市の知名度・魅力向上、交流人口拡大など高い効果が期待できる。

人吉球磨の日本遺産ストーリーを全国へ発信する。

旅行ガイドブック掲載
季刊誌(全国版)春号
季刊誌(九州版)年末号・春号
電子書籍アプリ12月号(3か月掲載)
フリーペーパー1万部

※KPIの日本遺産ホームページ年間閲覧指数について補足
ホームページ公開は、平成28年3月中旬から開始、閲覧数1,974件は、2週間分の件数となります。(年度末時点では目標は達成していませんが、現時点では4,000件を超えているものと推測しています。)

4

実績額

9,685,000円

事業の評価指数(KPI)

指標

目標

前年度比120%

入込観光客の増

実績

112.40%

指標

目標

4,000件

日本遺産HP年間閲覧数

実績

1,974件

項目

判定

今後の取組方針

地方創生に非常に効果があった

事業の継続

地方創生に相当程度効果があった

日本遺産の情報発信については、人吉球磨日本遺産活用協議会のH28年度事業において、映像制作放映、プロモーション、情報誌広告により人吉球磨地域で実施、推進していく。

地方創生に効果があった

○

地方創生に効果がなかった

委員からの意見・要望

<達成度> □大きな成果が得られた ■概ね成果が得られた □成果が得られなかった
<方向性> ■増加する方向にある □現状と変わらない □減少する方向にある
<必要性> ■必要性が高い □必要性が認められる □必要性が低い、ない
<有効性> □総合戦略に有効であった ■概ね有効であった □有効性が低い、ない

<意見・要望> 今後の情報発信の方法等、日本遺産に関心を持つ方への働きかけが重要。周辺自治体とも連携し、情報発信に努めてほしい。

地方創生先行型実施事業検証シート

担当部課名

経済部観光振興課

事業名				ムスリムインバウンドおもてなし構築事業				
1	総合戦略における位置付け	基本目標	目標	名 称	施策	名 称	主要な事務事業	名 称
		1・2		1 本市にしごとをつくり、安定した雇用を創出する		ウ)地域の農林水資源、観光資源を活用した新たな地域産業の充実強化		①広域観光連携プロモーション活動の実施
				2 本市への新しいひとの流れをつくる		ア)人吉球磨の日本遺産を中心とした観光振興と交流促進		①人吉球磨の日本遺産を中心とした景観・文化振興戦略及びニューツーリズムの戦略の構築・展開
								③外国人観光客の誘致

事業の内容

事業の概要	2	目的(何のために)	事業の概要	4	実績額	315,000円	
				事業の概要	指標	目標	50人
					ムスリム来訪数	実績	36人
					指標	目標	3件
事業の概要	3	事業内容(手段、手法など)	事業推進の実施経費 セミナー及び交流に伴う経費(旅費・使用料及び賃借料) Masjidミーティング経費 (使用料及び賃借料)	事業の概要	新規取組企業数	実績	2件
事業の概要	3	事業内容(手段、手法など)	事業推進の実施経費 セミナー及び交流に伴う経費(旅費・使用料及び賃借料) Masjidミーティング経費 (使用料及び賃借料)	事業の概要	項目	判定	今後の取組方針
					地方創生に非常に効果があった	○	事業の継続
					地方創生に相当程度効果があった		人吉市流ムスリムフレンドリーおもてなし取組により取組企業、来訪数の増加を目指し地域活性化を継続する
					地方創生に効果があった		
事業の概要	3	事業内容(手段、手法など)	事業推進の実施経費 セミナー及び交流に伴う経費(旅費・使用料及び賃借料) Masjidミーティング経費 (使用料及び賃借料)	事業の概要	地方創生に効果がなかった		
					委員からの意見・要望		
					<達成度> □大きな成果が得られた ■概ね成果が得られた □成果が得られなかった <方向性> ■増加する方向にある □現状と変わらない □減少する方向にある <必要性> ■必要性が高い □必要性が認められる □必要性が低い、ない <有効性> □総合戦略に有効であった ■概ね有効であった □有効性が低い、ない		
					<意見・要望>おもてなし事業参加者による情報発信に期待している。関係団体との連携をさらに強化して取組んでほしい。		

※KPIのムスリム来訪数について補足

来訪者36名は、モニターツアーや、Masjid会議等で、市が把握できた人数。アジア各国からの観光等宿泊者数(イスラム圏6か国及び、中国、台湾、香港、韓国等)は、昨年1,769名が計上されているが、来訪者に宗教・宗派は聞けないため、このKPIには、カウントしておりません。